



# 週間情報



No.2342

発行日 平成23年11月8日

発行所 全国消防長会

(財)全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

## 消防本部の動き

### ◆ ピンバッジに防火安全を誓う ～予防技術資格者記章を胸に付け～

金沢市消防局（石川）

金沢市消防局では、平成23年11月1日（火）から「予防技術資格者」の認定者に、このことを表す記章を配布し、記章を貼付して立入検査などの予防業務にあたることにした。

これは、近年、予防業務を希望する若手職員が減少傾向にある現状と2007年から始まっている大量退職期を迎え、「予防技術資格者」の人材確保対策の一つとして始めたものです。

金沢市消防局では、この記章、いわゆる「ピンバッジ」により、主に次の4つの効果を期待しています。

- ① 予防ピンバッジを貼付した職員が立入検査等を行うことで市民に安心感と信頼感を与えること。
- ② 視覚的に予防技術資格者等にステータスや優越感を与えられ、業務に対するモチベーションが上がること。
- ③ 貼付者に対して、自覚と責任感並びに緊張感を与え、より一層の自己研鑽を促すこと。
- ④ 予防担当職員以外の若手職員等が予防業務に興味を持ち、結果として予防業務を志願する職員が増えること。

今回制作したピンバッジデザインは、赤地に金のYマーク（写真参照）をモチーフとしたもので、地色の赤は消防カラー、「Y」は予防のローマ字表記の頭文字と消防機関の地図記号を表しています。

今回の施策は、予防業務に関して高度な知識・技能を有する職員確保のための「視覚的方策」として行っている一例を紹介したものであり、今後とも引き続き、効果的な予防技術力向上と人材確保の方策を展開していきたいと考えています。



【予防技術資格者記章】



【ピンバッジの貼付状況】

### ◆ 「救命力世界一」チャレンジ防災フェスタ

豊中市消防本部（大阪）

豊中市消防本部では、平成23年10月15日（土）に大阪府豊中市の豊島公園（曾根南町）において「市制施行75周年記念事業」の一環として「“救命力世界一”チャレンジ防災フェスタ」を開催しました。

当フェスタは、地域の子育て力を育むことを目的とし設けた国の「安心子ども基金」を活用し、ジュニア救命サポーター事業を推進するために実施しました。

メイン会場（ローズ球場）で行った救命講習では、メインインストラクターの石見 拓氏（京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター）による胸骨圧迫心臓マッサージとAEDの指導が行われ、子どもから大人まで3,250人（一度に行った救命講習の受講人数で日本最多）の市民が熱心に受講しました。

その他、大阪音楽大学金管アンサンブル、箕面自由学園のチャリディング、豊中市消防音楽隊のドリル演奏などが行われました。

同公園内で行った、地震体験コーナーやバッテリーカー乗車コーナー（バッテリー駆動の小さな救急車と消防車）、地域の有名シェフの会（北摂会）が集い出店したグルメコーナーなど、たくさんの市民で賑わい、同フェスタ会場内には笑顔が溢れ、盛況で実りある一日となりました。



【3,250人による救命講習の状況】

## ◆ 解体中の小学校旧校舎を使用した実践的訓練を実施

### 西宮市消防局（兵庫）

西宮市消防局では、平成23年10月10日（月）、11日（火）の2日間、西宮市立夙川小学校の旧校舎で、高度救助隊員を含む市内救助隊員延べ83名が、都市型捜索救助技術の習得を目的とした実践的訓練を、耐震化建替工事に伴い解体する建物を活用し実施しました。

- 1 本訓練は、3月11日に発生した東日本大震災に伴う緊急消防援助隊の派遣を教訓とし、国際消防救助隊登録隊員の海外派遣を見据え、実災害現場において効果的且つ円滑に救助活動を展開するために必要な知識及び技術を養うとともに、常に二次災害の危険性が伴う劣悪な環境下での活動を強いられる狭隘・閉鎖空間において防ぎえた死をなくすため、都市型捜索救助に係る隊員個々の技術、知識を向上し、即応体制の充実強化を図ることを目的としました。
- 2 訓練施設は、地元解体業者等各関係者の多大なる理解と協力を得て、解体工事中の旧校舎に散在した大小異なる大きさのガレキの中に厳しい狭隘・閉鎖空間を演出するため、口径の異なるカナヒューム管を複雑に配置し、内外にガレキを被せ、実践的な都市型捜索救助が実施可能な模擬倒壊建物を設営しました。また、実建物の解体工事に併せて訓練施設を設営したため、常に細かい粒子の粉塵が浮遊し、散在するガレキは人工的に加工されたものとなり表面が歪で大きさも大小様々なものとなり、活動障害として排除する際や狭隘・閉鎖空間を進む際に支える手の平にも苦痛を伴うなど、より一層緊張感の高まる訓練施設にしました。
- 3 訓練内容と結果

活動する救助隊員は、大量の粉塵が浮遊するため、常にマスクやゴーグル等の個人保護装備の装着を強いられるガレキ下の狭隘・閉鎖空間において、低体温症や挫滅症候群（クラッシュシンドローム）を考慮した継続観察、外傷処置及び保温保護など要救助者の症状に応じた処置を実施しました。

兵庫県では平成21年度兵庫県下消防長会救助技術研究会作業部会において確立された、CSR（コンファインド・スペース・レスキュー）に関する兵庫県下統一のマニュアルがありますが、その実践だけでなく、訓練に至るまでの期間を含め、市内全救助隊員が東日本大震災での活動はもちろんのこと、阪神・淡路大震災及びJR福知山線脱線事故での活動を振り返り、教訓を共有して訓練を実施することで、都市型捜索救助に係る救助技術の更なる発展のために前進できたことが何よりの成果でした。

また、地中音響探知機をはじめとした高度救助用資機材を実際のガレキの上で使用することで、改めて資機材個々の能力を検証し、さらに効果的な運用を実施していけるものと感じました。

#### 4 震災教育

本訓練と併せて、市立夙川小学校では全児童約670名に対し、授業の一環として震災教育及び社会貢献教育が実施されました。この試みは震災から16年が経過し、震災で得た教訓を風化させることなく次の世代へ伝えていくことを最大の目的として実施されたもので、児童たちは数ある社会貢献の中でも最も尊い人道支援の大切さ、命の尊さを十分に学ぶことができました。



【狭隘空間での救助訓練状況】



【ガレキ上での訓練状況】

## ◆ ホームページの開設

- 10207 西胆振消防組合消防本部（北海道）  
ホームページURL <http://www6.ocn.ne.jp/~nfd119/index.html>

## 国等の動き

### ◆ 「消防職団員への感謝の集い」の開催

消防庁

標記について、平成23年11月2日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。  
本年3月11日に発生した東日本大震災に際し、災害活動等に尽力した緊急消防援助隊をはじめとする全国の消防本部、消防団及び消防防災航空隊のほか、同年2月22日に発生したニュージーランド南島地震災害において、救助活動に尽力した国際消防救助隊員等に対し感謝の意を表するため、「消防職団員への感謝の集い」を開催し、功績のあった消防機関等を表彰します。

(東日本大震災関係)

総務大臣表彰を授与する消防本部	751機関
総務大臣表彰を授与する消防団	91機関
総務大臣表彰を授与する消防防災航空隊	39隊

(ニュージーランド南島地震災害関係)

消防庁長官表彰を授与する消防本部	7機関
消防庁長官表彰を授与する国際消防救助隊員	33名

※ 受賞者は、別添(省略)名簿に記載されています。

#### ○ 消防職団員への感謝の集い

- (1) 日時 11月9日(水) 10時30分～12時15分
- (2) 場所 イイノホール

東京都千代田区内幸町二丁目1番1号

※ 全文は、消防庁ホームページ[http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou23nen.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou23nen.html)に掲載されています。

#### 【連絡先】総務課

担当：西澤政策評価広報官、宗係長  
電話：03-5253-7521  
内線：42171  
FAX：03-5253-7531

### ◆ 平成23年秋の褒章(消防関係)

消防庁

標記について、平成23年11月2日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。  
平成23年秋の褒章(消防関係)受章者は、87名で褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	10名
黄綬褒章	4名
藍綬褒章	73名
計	87名

(受章者名等は、別添の受章者名簿(省略。以下同じ)に記載されています。)

発令年月日 平成23年11月3日(木)

受章者のうち、

- ① 紅綬褒章は、災害現場等において、自己の危険を顧みず人命救助に尽力した者
- ② 黄綬褒章は、永年にわたり消防機器の販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した者
- ③ 藍綬褒章は、消防団員や婦人(女性)防火クラブ員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した者を対象としています。

#### ○ 伝達式日程

- 1 日 時 11月15日(火) 10時20分～10時50分
- 2 場 所 スクワール麹町3階「錦華」の間  
千代田区麹町六丁目6番地
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、審議官、  
消防大学校長、消防研究センター所長、総務課長

※ 名簿には、10月21日(金)の閣議において、褒章が授与されることに決定した者を記載しておりますが、発令日までの間に、名簿の記載事項に異動が生じることもありますので、ご



承知おきください。

※ 全文は、消防庁ホームページ([http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou23nen.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou23nen.html))  
掲載されています。

**【連絡先】総務課**

担 当：西澤政策評価広報官、宗係長  
電 話：03-5253-7521  
内 線：42171  
FAX：03-5253-7531

◆ **平成23年秋の叙勲（消防関係）**

**消防庁**

標記について、平成23年11月3日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

平成23年秋の叙勲（消防関係）受章者は、622名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝小綬章	34名
旭日双光章	3名
瑞宝双光章	91名
瑞宝単光章	494名
計	622名

（受章者名等は、別添の受章者名簿（省略。以下同じ）に記載されています。）

発令年月日 平成23年11月3日（木）

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

○ 伝達式日程

- 1 日時 11月8日（火）11時15分～11時45分
- 2 場所 ニッショーホール  
港区虎ノ門二丁目9番16号
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、審議官、  
消防大学校長、消防研究センター所長、総務課長

※ 名簿には、10月25日（火）の閣議において、勲章が授与されることに決定した者を記載しておりますが、発令日までの間に、名簿の記載事項に異動が生じることもありますので、ご承知おきください。

※ 全文は、消防庁ホームページ([http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou23nen.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou23nen.html))  
に掲載されています。

**【連絡先】総務課**

担 当：西澤政策評価広報官、宗係長  
電 話：03-5253-7521  
内 線：42171  
FAX：03-5253-7531

◆ **全国女性消防団員活性化香川大会の開催**

**消防庁**

標記について、平成23年11月4日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

消防団の活動が多様化する中で、地域コミュニティーと深いつながりがあり、きめ細やかな視点を持つ女性消防団員は、欠くことのできない大きな存在となっています。今大会は、全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果をアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動の活性化を目的として開催します。

《目的》

地域における消防防災体制の中核的存在として消防団に期待される役割は拡大しており、現在は、消火・防火といった従来からの業務に加え、救助、避難誘導、平常時における防災知識や応急手当の普及啓発など多様で幅広い活動に従事しています。

このような状況のもと、地域コミュニティーと深いつながりがあり、きめ細やかな視点を持つ女性消防団員は、欠くことのできない大きな存在となっており、団員の確保と活性化が喫緊の課題となっている中でその数を着実に増やしています。

今大会は、全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果をアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動の活性化を目的として開催するものです。

1 開催日時及び場所

日時：平成23年11月11日（金）10時30分～16時30分

場所：アルファあなぶきホール（香川県高松市玉藻町9-10）

2 大会テーマ ようこそ瀬戸の都さぬきへ  
「集まれ！つながれ！女性消防団員！」

3 内容（※詳細別紙（省略））

(1) 活動事例発表

(2) 火災予防啓発劇

(3) 記念講演

(4) パネルディスカッション

4 参加人員 約2,500名

5 主催及び共催

＜主催＞消防庁、(財)日本消防協会、(財)香川県消防協会

第17回全国女性消防団員活性化香川大会実行委員会

＜共催＞香川県、高松市

＜後援＞香川県市長会、香川県町村会

※ 全文は、消防庁ホームページ[http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou23nen.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou23nen.html)に掲載されています。

【連絡先】国民保護・防災部防災課

担当：青木消防団専門官、荒山補佐、常木係長

電話：03-5253-7525（直通）

FAX：03-5253-7535

E-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail：weekly@fcj.gr.jp